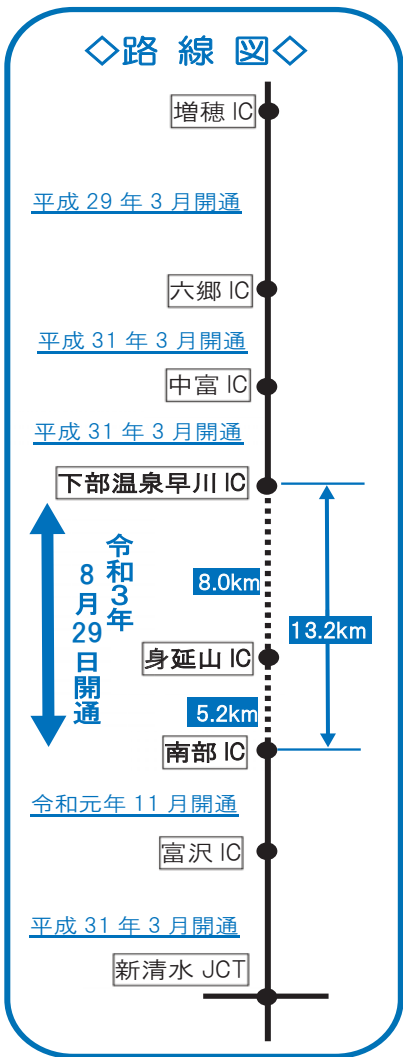


つながる。広がる。ミチの出会い。 中部横断自動車道（山梨-静岡）



全線開通



通り初め出発(身延山IC⇒南部IC)



和田トンネル内での開通式典

■山梨県庁と静岡県庁間の 所要時間が100分以内に!

8月29日(土)、中部横断自動車道「南部IC～下部温泉早川IC」開通式典及びセレモニーが、身延山ICで、長崎幸太郎山梨県知事、川勝平太静岡県知事、濱谷健太甲府河川国道事務所長、佐野和広南部町長、南部町議会議員の皆様など多くの関係者が出席のもと行われました。同日16時には、『南部IC～下部温泉早川IC』が開通し、待望の山梨-静岡間(74.3km)が全線開通となりました。

「中部横断自動車道」は昭和62年6月に高規格幹線道路網として閣議決定。同年9月に静岡県静岡市-長野県佐久市を予定路線(全長132km)に決定され、計画がスタートしました。

平成9年に双葉JCT～増穂IC間の着工を皮切りに、六郷IC～富沢IC間は平成21年に着工され、平成29年度中には全線開通予定でしたが、山間部が大部分を占める六郷IC～富沢IC間は、もろい地盤の影響で工事が難航し、開通は3回延期され、長い年月を経て開通にいたりました。

今回の全線開通により、山梨県庁から静岡県庁までの所要時間は、中部横断自動車道を利用しない場合約2時間45分、利用した場合約1時間35分要することから、約70分の短縮が可能となりました。また、災害時における代替路の確保、救急医療活動の迅速化、新たな企業立地の進展など様々なメリットが期待できます。